

2023年11月25日(土曜日)

簡単にできる手作り本シリーズ

革のロングステッチ製本

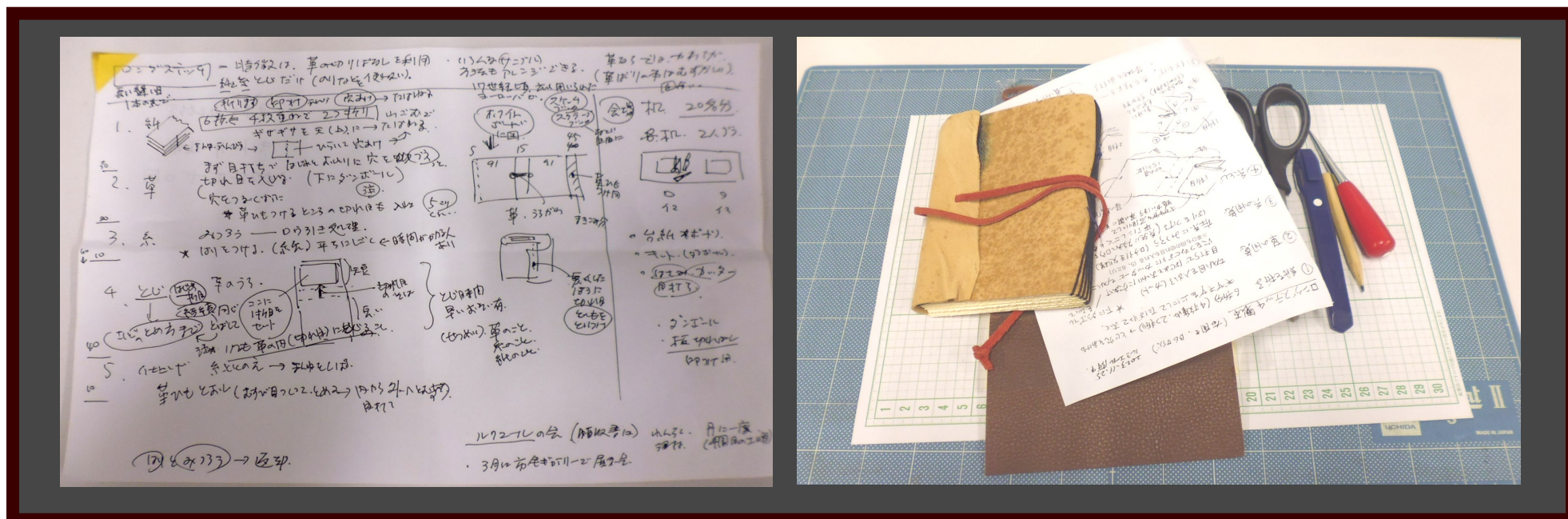
開催報告



装幀家・デザイナーの津村明子先生と、創作工芸ルリユールの皆様のご協力で開催している造本のワークショップです。今回はロングステッチで縫いとめる革の手帳を作りました。



初めに、津村先生から製作の流れについて説明がありました。流れを把握したら、実作業へ移ります。参加者は作業工程毎に先生のテーブルに集まり説明を受けます。説明後はそれぞれのテーブルに戻り、先生とルリユールの皆様のきめ細やかなサポートを受けながら製作を進めました。



用意された手順書と作業キット

ステップ①紙

本文用紙を作ります。見開きのサイズに裁断された用紙を4枚一組に揃えて、半分に折ります。これを6束作ります。



ステップ②革

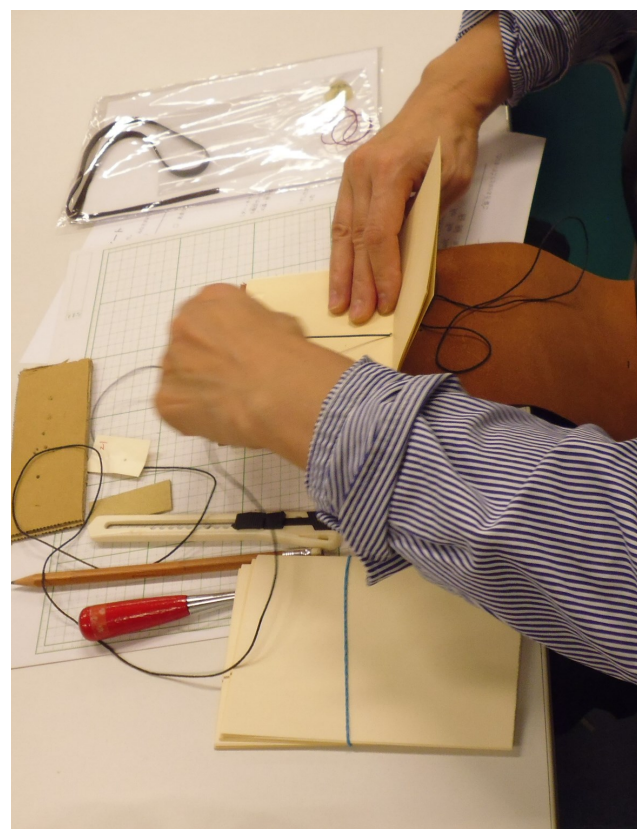
目打ちで本文用紙の中心に穴をあけます。革も同様に穴をあけ、更にカッターで切り込みを入れます。



ステップ③糸

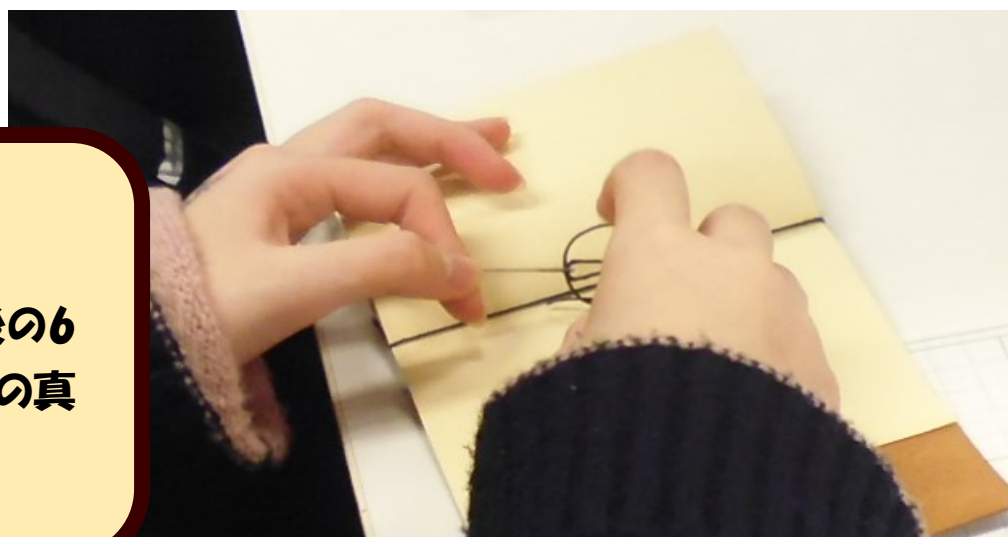
麻糸で本文用紙を表紙の革に縫い留めます。麻糸は滑りをよくするための蜜蝋を塗り、針に通します。表紙の革に本文用紙を一束ごと重ねて、中央から8の字状に糸を通します。

本文用紙をきれいに留めるには、きつくないよう、緩くないように麻糸の締め具合に注意が必要です。



ステップ④綴じ

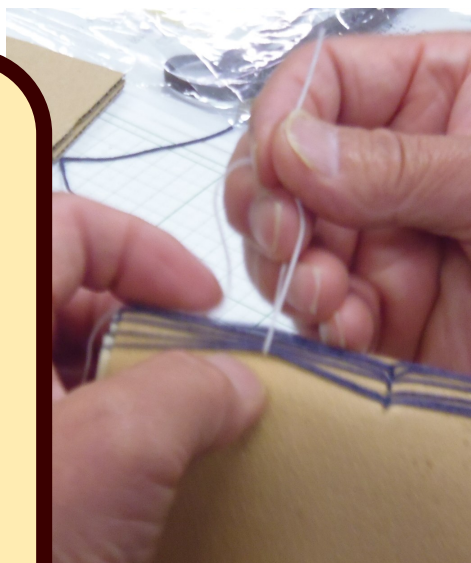
締め具合を整えたら、最後の6束目を縫い留めた糸を、折り目の真ん中で結びます。



ステップ⑤仕上げ

表紙の背の糸を別の糸で結びます。綴じ糸と違う色を使うとアクセントになり、とてもおしゃれな印象に。

最後に革の綴じ紐を取り付けます。革紐は片側を玉結びにします。表紙の折り返しに切り込みを入れ、開けた穴へ革紐を通して完成です。



完成!

津村先生と創作工芸ルリユールの皆さんの丁寧な指導で、皆さん、素敵な革の手帳を作ることができました。

ご参加いただきありがとうございました!

